

BUSINESS  
営業最前線

# PGSホーム 光触媒塗装「スーパータンプロテクト」 「正々堂々の営業」を身上に



光が当たると化学反応を促進し、浄化や防汚作用を発揮する光触媒。住宅リフォームの分野から、この先端技術に着目し、独自の光触媒コーティング塗装で躍進するのがPGSホーム(本社 大阪市東成区)です。外壁に塗ると、長期間、美観を保てると好評で、リフォーム市場の拡大を追い風に近い将来、株式上場を目指しています。創業から32年。製品力を強みに、地道に信用を積み上げてきた同社の池田武史・取締役 経営統轄本部 本部長に、事業の特色と展望を聞きました。

「事業内容とこれまでの歩みを教えてください」

外壁塗装を主軸に、太陽光発電システムの販売施工、二戸建てビルマンションのトータルソリューションを手掛けています。創業は1983年。当初は社員わずか数人で、2003年ごろから全国展開を始め、いまや東京から熊本まで15店舗、社員300人に成長しました。

全国展開と時期を同じくして、光触媒コーティング剤「スーパータンプロテクト」を自社開発。ソーラー事業にも乗り出しました。昨年度売り上げは23億円。創業以来、赤字にならなかったことがなく、自己資本比率90%

## 光触媒の可能性広げて

以上を維持、念願の株式上場が見えてきました。

「スーパータンプロテクト」は

酸化チタンの光触媒作用を生かした無色透明の仕上げ用塗料です。外壁の表面に塗ると、太陽の紫外線を吸収して活性酸素を発生させ、カビなど有機物を分解します。また、表面を超親水性にして汚れを浮き上がらせ、雨が降るたびにセルフクリーニング効果を発揮します。

光触媒の空気浄化作用も見逃せません。約4軒分(外壁面積1000㎡)の「スーパータンプロテクト」は、大気汚染のもとになる窒素酸化物分解力で、ボラの木60本分に相当します。いわば、壁が生き物のように働いて、住まいと環境を守ってくれるのです。

「光触媒をうたう他の塗料との違いは」

「スーパータンプロテクト」は弾力性のある塗料で、コンクリート、モルタル、土壁など、あらゆる素材に対応できます。

### Profile

#### 池田 武史

(いけだ たけし)

取締役

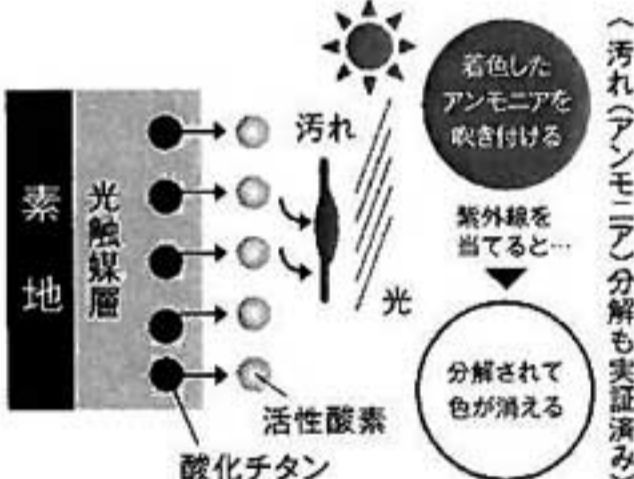
経営統轄本部 本部長  
2007年、姫路支店入社。神戸支店長、営業統轄本部を経て、12年10月、営業統轄本部(現経営統轄本部)本部長に就任。同年12月、取締役就任。



### 光触媒コーティング塗装の仕組み

#### 有機物分解

太陽の光を受けると塗膜の中の酸化チタンが活性酸素を生み出します。この活性酸素が汚れを分解し、汚れの付着力を弱めます。



#### 親水性

水をはじかず、表面に水がなじむ超親水性なので、雨水などが壁の汚れの下に入り込み、汚れを浮き上がらせて流します。

#### 汚れがつきにくい

燃料電池の電解質に採用されている樹脂だから、光触媒の酸化還元反応にも安定し、下地を傷めません。そして樹脂自体が親水性を持っているので、太陽の光が当たりづらい北側なども汚れを付きにくくします。

「アルミ・スチールを除くと焼き板でも漆喰でも塗れない壁はないですね。一般に光触媒塗料はひび割れに弱いものが多いのですが、当社の製品はひび割れに強い目地やシーリングにも塗ることができ、また、塗料自体に静電気防止機能があり、UVカット効果も付与して色あせしにくくなっています。」

「初期費用がかなり高そうですが」

一般的な塗料と比べて高額にはなりますが、自社の製品や専属の職人による施工で、価格は抑えめです。しかも耐久性は約30年。10年に1度の塗り替えが不要になる分、結果的にお得です。過去に施工したお宅にお願いで、現状を新規のお客様にお見せすることもありますが、百聞は一見にしかずでご納得

「アファーマのきめ細かさ」に定評があります。

「施工で満足したばかりの頃は、プロとして当たり前の、むしろ工事が終わってからの半永久的なおつきあいのスタートと考えています。」

「光触媒の新たな展開は、屋内の可視光(蛍光灯)でも光触媒効果を発揮する塗料「スーパータンプロテクトV」を開発し、内装に活用しています。アレルギーやシックハウス症候群の原因になる有害物質を分解。抗菌作用もあるため、病院や施設からの受注もあり。浴室に塗ってカビ防止、ベットの消臭など、用途は広がっています。酸化チタンは化粧品や食品にも使われる代表的な光触媒物質なので、室内で使っても安心です。」

### 太陽光発電 新システムも注目

PGSホームは光触媒にまつわる独自の材料や製造方法を採用する一方、太陽光発電の分野でも様々な研究開発に取り組んでいる。中でも酸化チタンの薄膜を利用した「色素増感太陽電池」は、薄膜表面に色素を吸着させることで発電効率を飛躍的に高める次世代システムとして注目を集めている。

「この分野に関連し、2014年には、システムの温度上昇を防止する「赤外線反射塗料」を開発して特許を取得。また、奈良先端科学技術大学院大学と共同で、色素増感太陽電池の耐久性を従来の10倍以上に向上させる電解質を開発した。こうした成果を基礎に低コストで長持ちする太陽光発電システムを3年後にも実用化することをめざしている。」

**会社概要**

**PGS PGSホーム**

PGSホーム(池口 隆社長)は大阪市東成区に本社を置く住宅ペイントやリフォーム、太陽光発電の会社。1983年1月創業。資本金2億2400万円。

大阪で一般戸建て住宅の外壁塗装を行っていたが、2002年に太陽光発電事業をスタート。03年に神戸支店を開設し、以後、毎年のように支店を開設。14年12月で従業員300人、年商23億円。同月、(株)東京商工リサーチが発行している「ALevel(アラベル)」に「優良企業」として格付けされ、掲載された。経営理念は「お客様からの信頼と共に発展する」。

電話番号:06-6981-3914  
所在地:大阪市東成区東今里2-1-8 PGSビル  
URL:http://www.pgs-home.jp  
建設業許可  
(国土交通大臣許可(般-25)第25186号)  
電気工事業(第2008-1054号)  
ISO9001・ISO14001取得  
全国14支店:代々木支店、横浜支店、藤沢支店、浜松支店、東海支店、京都支店、新大阪支店、横浜・南郷江支店、新深江支店、神戸支店、岡山支店、広島支店、福岡支店、熊本支店

「訪問販売で信頼を得る秘訣は」

「当社は「正々堂々の営業」が身上です。契約を取るためのリップサービスではなく、お客様の住まいやライフスタイルに何がベストかを考えて、誠実に提案する。デメリットが生じる場合はきちんと説明する。そのために、企業として「人を育てる」ことを第一義に、製品から建築全般に至る社員研修を、随時実施しています。出社時に朝気がない顔つきや乱れた服装をしていたら、「やり直し」。気の抜けた態度をとっていると、お客様の前に出せません。厳しい? いえ、みんな楽しんでます。」

「株式上場と、そこからの事業展開です。訪問販売の住宅ペイント業界で、上場は大きな挑戦です。当社としては上場をスタートラインとして「ホーム」の名にふさわしい新規事業に乗り出し、例えば福祉や医療など、いろいろな分野に進出しようと考えています。いつか日本を代表する企業に育てたい。上場はその第一歩として、ぜひ実現する決意です。」

「会社のビジョンとは」

「これら研究の成果と、自己資本比率を高く維持していることなどが評価され、東京商工リサーチの地域優良企業に認定されました。」

「特許申請数も増加中です。これから研究の成果と、自己資本比率を高く維持していることなどが評価され、東京商工リサーチの地域優良企業に認定されました。」

「特許申請数も増加中です。これから研究の成果と、自己資本比率を高く維持していることなどが評価され、東京商工リサーチの地域優良企業に認定されました。」

**大阪市女性活躍リーディングカンパニー 二つ星に認証**

PGSホームは支店長や取締役として活躍する女性リーダーも多い。女性が働き続けられる職場をめざし、産休、育休はもとより、妊娠期の通院や子どもの看病、学校行事への参加等で休暇取得を積極的に呼びかけている。男性にも育児や家事に参加する機運が生まれ、ワーク・ライフ・バランスの意識が進んだ。こうした努力が評価され、2月、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」二つ星に認証された。